

2026年度 北海道大学大学院  
文学院修士課程入学試験（前期）

試験科目名	専門試験（ 地域科学 ）
出題の意図	<p>問 1 本設問では、社会生態学分野から 2 問、人文地理学分野から 3 問、地域社会学分野から 1 問が出題されており、各分野の基礎概念を用いて専門的な議論を行う能力や、専門的な知識を現実問題に応用する能力を見る。</p> <p>問 2 本設問では、社会生態学、人文地理学、地域社会学、およびその近接分野で用いられている専門用語の理解度を確かめるとともに、指定された文字数でそれらの意味を専門的な見地から明確に説明する能力を評価する。</p>

2026年度  
北海道大学大学院文学院修士課程入学試験問題（前期）  
（専門試験） 地域科学 全1枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 1枚、解答用紙 4枚を配付する。

問1は、小問1間につき解答用紙1枚を使用すること。問2は、小問5間で解答用紙2枚を使用すること。なお、選択した小問の番号を解答用紙に記すこと。また、各問では図を用いて説明を行ってもよい。

問1 下記の設問から2つを選択して解答せよ。

1. 移民や外国人労働者を受け入れる際、国と地方自治体はそれぞれ、どのような点を考慮し、政策や受入体制を設計・構築するとよいだろうか。政策・受入体制の具体的な事例を挙げながら、論述せよ。
2. クリスタラー（Walter Christaller）の中心地理論における供給原理を説明し、現在の都市機能分布との関係について論述せよ。
3. グローバルに展開する食料供給の特徴と問題について「フードレジーム論」の視点から論述せよ。
4. 日本の大型哺乳類の消費的利用（例：狩猟）および非消費的利用（例：アニマルウォッチング）に関して、どのような問題が生じているのか、資源モニタリング、個体群動態、地域社会との関係性の3つの視点から説明せよ。
5. 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律（鳥獣保護管理法）および関連政策について、人と野生動物のあつれき問題に対処しきれていない点や制度的な限界に関して、考えを述べよ。
6. ある地域の歴史的建造物保存の取り組みについて、質的調査を中心にした社会学的な研究を遂行したい。どのような調査計画が考えられるか。歴史的建造物の性格や規模について自分で自由に設定した上で、調査計画を具体的に論述せよ。

問2 次の用語から5つを選択し、専門的な見地からそれぞれ200字程度で説明せよ。

- |                                      |                             |
|--------------------------------------|-----------------------------|
| 1. 国家の退場                             | 9. 日常的実践                    |
| 2. イスラモフォビア (Islamophobia)           | 10. 同族団                     |
| 3. 感情的メンタルマップ                        | 11. 草食獣の過増加 (Overabundance) |
| 4. 実存的真正性 (Existential authenticity) | 12. 性別年齢別モデル                |
| 5. フードアパルトヘイト (Food apartheid)       | 13. 特定外来生物                  |
| 6. エスノメソドロジー                         | 14. キーストーン種                 |
| 7. 理論的飽和 (質的研究における)                  | 15. 指定管理鳥獣捕獲等事業             |
| 8. 暗黙知                               |                             |